

— 記者発表資料 —

国営昭和記念公園昭島口周辺エリアにおける官民連携事業の形成に向けたマーケットサウンディング調査の結果について

国営昭和記念公園昭島口周辺エリアのさらなる魅力の向上のため、民間の力を活用した官民連携事業の形成を検討しています。

この度、民間事業者の皆様との対話を通じ、事業アイデアや事業参画条件の把握等を行うマーケットサウンディング調査を実施しましたので結果を公表します。

【内容】

- 簡易提案書の提出のあった民間事業者から個別対話により意見を聴取しました。（詳しくは別紙のとおり）
- 今回のサウンディング調査結果を踏まえ、公募条件等を検討するなど公募に向けた準備を進めます。公募に関する具体的なスケジュールが決まりましたら、国営昭和記念公園事務所のホームページ等で公表する予定です。
- 調査に関する情報は以下に掲載しています。
<https://www.ktr.mlit.go.jp/showa/kanminnrenkei/kanminnrenkei.html>
(国営昭和記念公園事務所HP)

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、都庁記者クラブ、立川市政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 国営昭和記念公園事務所

調査設計課長 藤井 彰俊

TEL：042-524-1089

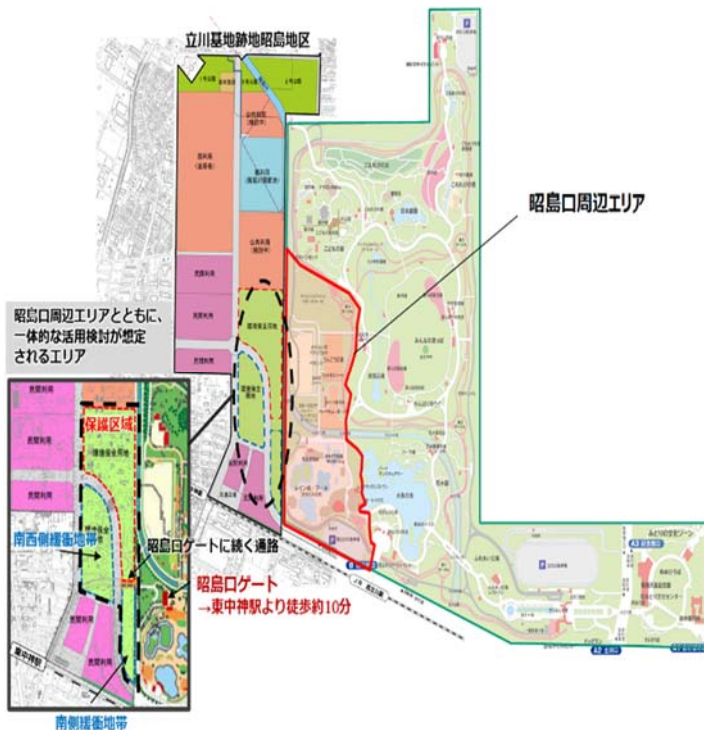
FAX：042-526-1466

国営昭和記念公園昭島口周辺エリアにおける官民連携事業の形成に向けた マーケットサウンディング調査の結果について

1. 概要

国営昭和記念公園昭島口周辺エリア（右図赤枠内）のさらなる魅力の向上のため、民間の力を活用した官民連携事業の形成を検討しています。この度、民間事業者の皆様との対話を通じ、事業アイデアや事業参画条件の把握等を行うマーケットサウンディング調査を実施しましたので結果を公表します。

今回の官民連携事業の対象となる範囲は昭島口周辺エリアで、公園に隣接する環境保全用地（右図点線範囲）についても、立川基地跡地昭島地区におけるまちづくりの下、本公園と一体的な活用検討が想定されるエリアとして対象に加え、意見を聴取しました。



2. サウンディング調査の経緯

日程	内容
令和3年2月9日（火）	サウンディング調査実施要領の公表
令和3年2月22日（月） 24日（水）	事業説明会の実施 (事業の趣旨説明及び昭島口周辺エリアの現地見学会)
令和3年3月5日（金）	質問回答公表（個別対話参加事業者対象）
令和3年3月16日（火） ～3月22日（月）	個別対話の実施 (事前に参加者は簡易提案書を提出)

3. サウンディングの参加状況

- 事業説明会の参加者・・・・・・・・・・26社
- 個別対話の参加者・・・・・・・・・・17社

4. サウンディング結果の概要

(1) 事業範囲

- ・事業連携のしやすさや管理運営上の効率の観点から、今回設定した対象範囲を包括的に事業できるような募集が望ましいとの提案がありました。
- ・多岐にわたる事業であるため、昭島口周辺エリアの一体的な事業募集となる場合において、コンソーシアムの組成に関する提案がありました。

(2) 役割、事業への関心

- ・現時点で代表企業や事業統括的な役割での参画を視野に入れている企業が複数社ありました。

(3) エリア・施設別の主な意見

- ① プールエリア 【提案必須施設】
 - ・現在の規模を存続させるのは難しいとの意見が多く、プールの規模縮小もしくは、他の施設としての活用（温浴機能、子どもの遊び場、プール以外の水景施設等）に係る提案がありました。
- ② 昭島ロゲート・サイクリングロード（ループ化） 【提案必須施設】
 - ・園全体の利用に資する施設であるため、行政側が整備費を負担すべきとの提案がありました。
- ③ 残堀川調整池跡地 【提案必須施設】
 - ・バーベキューガーデンと一体的に活用し、キャンプ、グランピング、バーベキューなどで活用する提案がありました。
 - ・電気等のインフラ整備に係る費用・リスク分担の明確化についての提案がありました。
- ④ 西立川口駐車場・レイクサイドレストラン 【提案可能施設】
 - ・既存施設の改修や機能の拡張に関する提案（大型バス対応など）がありました。
- ⑤ スポーツ関連施設 【提案可能施設】
 - ・うんどろ広場と一体的に活用する提案がありました。
- ⑥ イベント、公園外との連携等
 - ・防災、教育、食等に関するプログラムやモビリティの充実に係る提案がありました。

(4) 環境保全用地（保護区域、南西側緩衝地帯、南側緩衝地帯） 【参考聴取】

- ・駐車場、自然観察アクティビティとして一体的に利用したいという提案がありました。
- ・周辺のまちづくりによる需要を踏まえた検討が必要との意見がありました。

(5) 事業手法、事業期間

- ・PFI 方式での 30 年間や Park-PFI 方式での 20 年間等、長期間を希望する提案がありました。

(6) 取り組みにあたっての課題（民間事業者からの要望）

- ・入園料徴収について、利用者の手間を省くため、収益施設や昭島ロゲート以外のゲートとの一体的な運用にして欲しいとの意見がありました。
- ・営業時間の延長や夜間利用の要望が多く、延長時の入退場の管理方法や他エリアへの立ち入りの規制の仕方などに係る課題が挙がりました。
- ・園内の土地使用料に係る要望がありました。
- ・新規のインフラ整備が必要となった場合、国側にも費用負担をして欲しいとの意見がありました。
- ・公園のサービスや利用者満足度向上のため、通信インフラ（光回線、Wi-fi 設備など）が必要との意見がありました。

5. 今後の予定

今回のサウンディング調査結果を踏まえ、公募条件等を検討するなど公募に向けた準備を進めます。公募に関する具体的なスケジュールが決まりましたら、国営昭和記念公園事務所のホームページ等で公表する予定です。